

発刊にあたって



根室市の漁業は、北方海域の豊かな水産資源を背景に、北洋漁業の開拓とともに発展を続けてまいりましたが、相次ぐ国際的な漁業規制の強化によって、沖合漁業の縮小を余儀なくされ、漁業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

近年では、ロシアの資源管理強化が進む中、「ロシア 200 海里内さけ・ます流し網漁業」や「貝殻島昆布採取漁業」における民間交渉の難航など、対ロ漁業の先行きは不透明な状況が続いており、全体漁獲量の約 5 割をロシア水域に依存している本市にとって、日本とロシアとの長期かつ安定的な漁業関係の構築が重要な課題となっております。

このことから、市としては、対ロ漁業における国の積極的な支援と関与を引き続き強く求めていく一方、多くの漁業者が営んでいる沿岸漁業において、ウニ等の種苗放流のほか、コンブ資源の増大に向けた雑海藻駆除などの漁場造成の実施、さらにはハナサキガニやヤナギダコの種苗生産技術の確立に向けた研究を進めるなど、将来における沿岸漁業の安定的生産を確保するため、各種の資源管理施策を展開しております。

また、産業・経済界と連携し、「産業クラスター構想」や「根室ブランドの確立」、「地域 HACCP 化の推進」、「根室製品の消費拡大」など、産業振興対策を引き続き実施してまいります。

今ここに、先人が築きあげた「水産都市・根室」の歴史に思いをめぐらせながら、激動の海に生き、漁業振興に奮闘された多くの漁業者の知恵と汗が、現在までのふるさと発展の中心となりえた事に感謝するとともに、この機会を次世代への足掛かりとして、より一層の水産振興に取り組んでまいりますので、今後とも本市の水産行政に対しご理解いただき、関係各位のお力添えをいただければ幸いに存じます。